

DIALOG

DIALOG(対話)を通して
地域医療のあり方を考える

with Citizens

2016 No.1



乳がんへの取り組み - 3D画像で診断精度は格段に向上！ -

横井一樹 外科統括部長

海外や国内の芸能関係の方の乳がんとの闘いがメディアで紹介されてから高い関心を呼んでいる乳がん。この乳がんの早期診断・治療に関しての岡崎市民病院の取り組みを紹介します。

最新鋭の乳房X線診断システムによる検査

市民病院では東海地方で初、全国でも3施設目という最新鋭のデジタル式乳房用X線診断装置（マンモグラフィ―機器）を平成26年1月に導入して検査に活用しています。

この装置では、早期乳がんのサインである微小石灰化を見逃さないよう世界最高レベルの高密度画素での撮影が可能となっています。

また、一般的なマンモグラフィ―は乳がんの早期発見に有用ですが、周囲の組織と重なった場合に重要な病変を見つけないという欠点があります。当院の最新鋭の装置は、この欠点を補うべく開発された新しい撮影法であるトモシンセシス機能を有し、平面(2D)画像に立体(3D)画像を加えることで情報量を飛躍的に増加させ、診断精度を格段に向上させています。

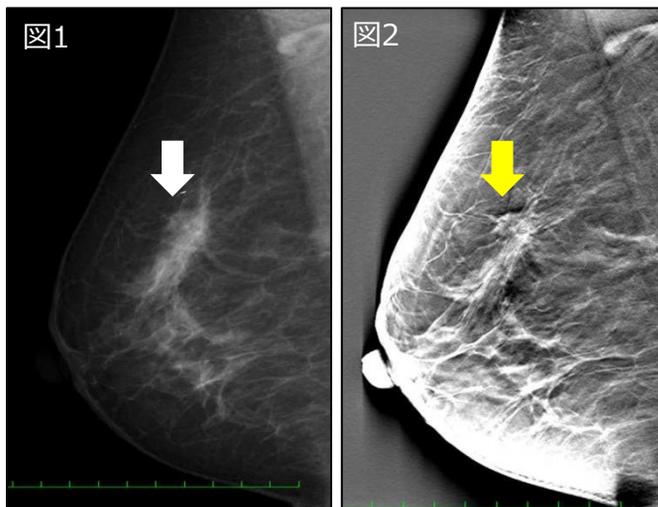


図1 通常のマンモグラフィ―画像 図2 トモシンセシス画像(3D)

当院での具体例を見てみましょう。図1の通常のマンモグラフィ―画像では正常乳腺組織に隠れて見えない腫瘤影(白色矢印)が、図2のトモシンセシス画像では腫瘤影(黄色矢印)がくっきりと描出されています。その後の精密検査で右上部の乳がんと診断されました。

一人一人に最適な治療と各分野の専門スタッフ

当院では乳がんの診断には今回ご紹介したトモシンセシス画像を始め、エコーやMRIなどを組み合わせた画像検査で乳がんの疑いが高いかどうかを判断し、乳がんの疑いが強い場合は組織の一部を麻酔をしてから採取して検査します。乳がんと診断した場合は手術、抗がん剤、放射線療法を組み合わせ、一人一人の患者さんに最適な治療を行います。各分野の専門医が最新の知識・技術・薬剤・医療機器を用いて対応するとともに、各分野の専門知識を持った看護師・薬剤師・放射線技師も一緒に治療にあたらせていただきます。

乳がん検診で異常を指摘された方や乳がんが心配な方は、お近くの開業医や病院にまずご相談していただき、当院を受診していただく場合は、紹介状と事前予約をお願いします。



トモシンセシス機能を持ったマンモグラフィ―機器

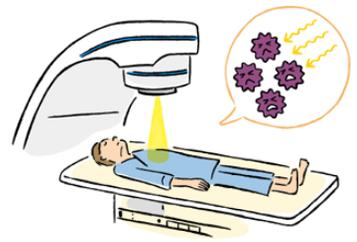




放射線治療のご紹介

— 選択的な放射線療法 —

大塚 信哉 放射線科部長

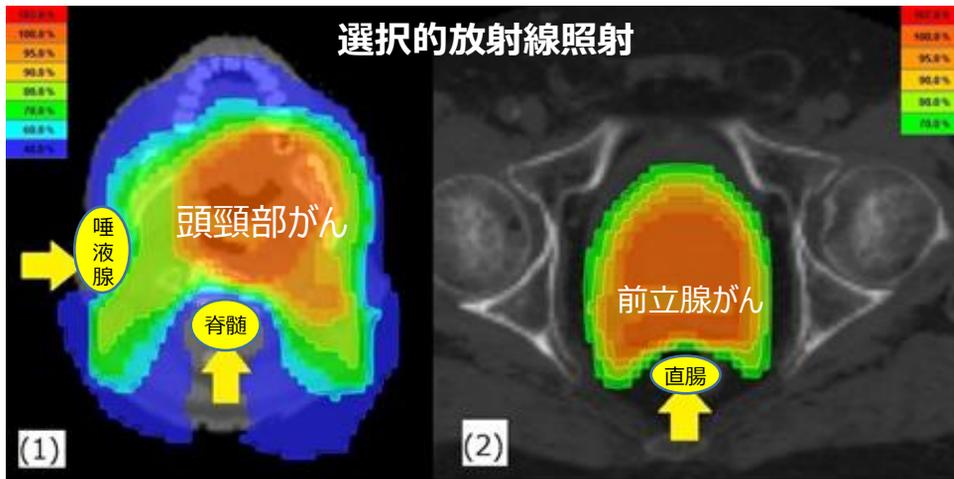


最新鋭の放射線治療機器でがん治療

放射線治療はがんに対する重要な治療法の一つです。岡崎市民病院には3台の放射線治療機器が設置されています。その中でも当院の特色は、TomoTherapy（トモセラピー）という放射線治療機器を導入している点で、がん治療にとっても効果を発揮しています。

この放射線治療機器は、がんに焦点をあてて放射線を照射し、周囲の健康な臓器への照射は少なくなるように調整できる能力があります。

治療対象は主に前立腺がんや頭頸部がんですが、脳、脊髄、脾臓、子宮、直腸などにも照射しています。この治療ができる施設は限られていて、西三河地方の多くの病院から患者さんが治療に来られています。



いずれも治療が必要な領域に選択的に放射線を照射できている(赤、橙、黄、若草、緑、黒の順に放射線量が多い)。

- (1) 頭頸部がん照射され、唾液腺や脊髄の被ばくは抑えられている。
- (2) 前立腺がん照射され、直腸の被ばくが抑えられている。



近藤 勝
腫瘍内科統括部長

外来治療センターのご紹介

— 安心安全な外来化学療法を —

社会生活を維持したまま がん治療できる環境

がん患者さんが前向きな気持ちで治療を継続していくために、できる限り社会生活を維持したまま治療できる環境の必要性が高まっています。岡崎市民病院では、多くの患者さんに安心して抗がん剤治療を受けていただくことができるよう、平成25年10月に外来治療センターを開設し、専属の医師、薬剤師、看護師が主治医と連携をとりながら治療を担当しています。

当センターでは、患者さんに安心して治療を受けていただくために、安全性には細心の注意を払っています。

まず主治医の診察を受けられた患者さんは、当センターの担当医（腫瘍内科2名のどちらかが常駐しています）が再度診察を行い、治療についてダブルチェックをしています。治療を受けられる患者さんについては、薬剤師が抗がん剤の投与量などに間違いがないことを確認したうえで、無菌の環境で調剤しています。

患者さんには担当の看護師1名がつき、治療前の体温や血圧の測定、複数の看護師による薬剤の確認後に治療を開始します。薬剤の投与中も看護師が定期的に体調をうかがって副作用の出現に細心の注意を払うとともに、担当医が迅速な初期対応を行う体制をとっています。



外来治療センターは、西棟1階南側の日当たりの良いフロアにあります(ベッド22台、リクライニングチェア3台の計25台)。





がん診療拠点病院に指定されました！



鈴木 祐一 副院長(外科)



当院は、平成28年4月1日より「愛知県がん診療拠点病院」に指定されました。

がん診療拠点病院とは

全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向けて、地域のがん診療の連携の拠点とがん医療水準の引き上げを行う病院として国が指定する「がん診療連携拠点病院」と同等の機能を有する病院として、平成22年5月1日に愛知県が定めたものです。

<この3年間のがん医療の設備・体制の充実>

- ・放射線治療部門の設置
- ・外来治療センターの開設
- ・がん相談支援センターの開設
- ・緩和医療の充実、緩和ケア外来の開始
- ・院内がん登録の実施
- ・内視鏡センターの開設 など

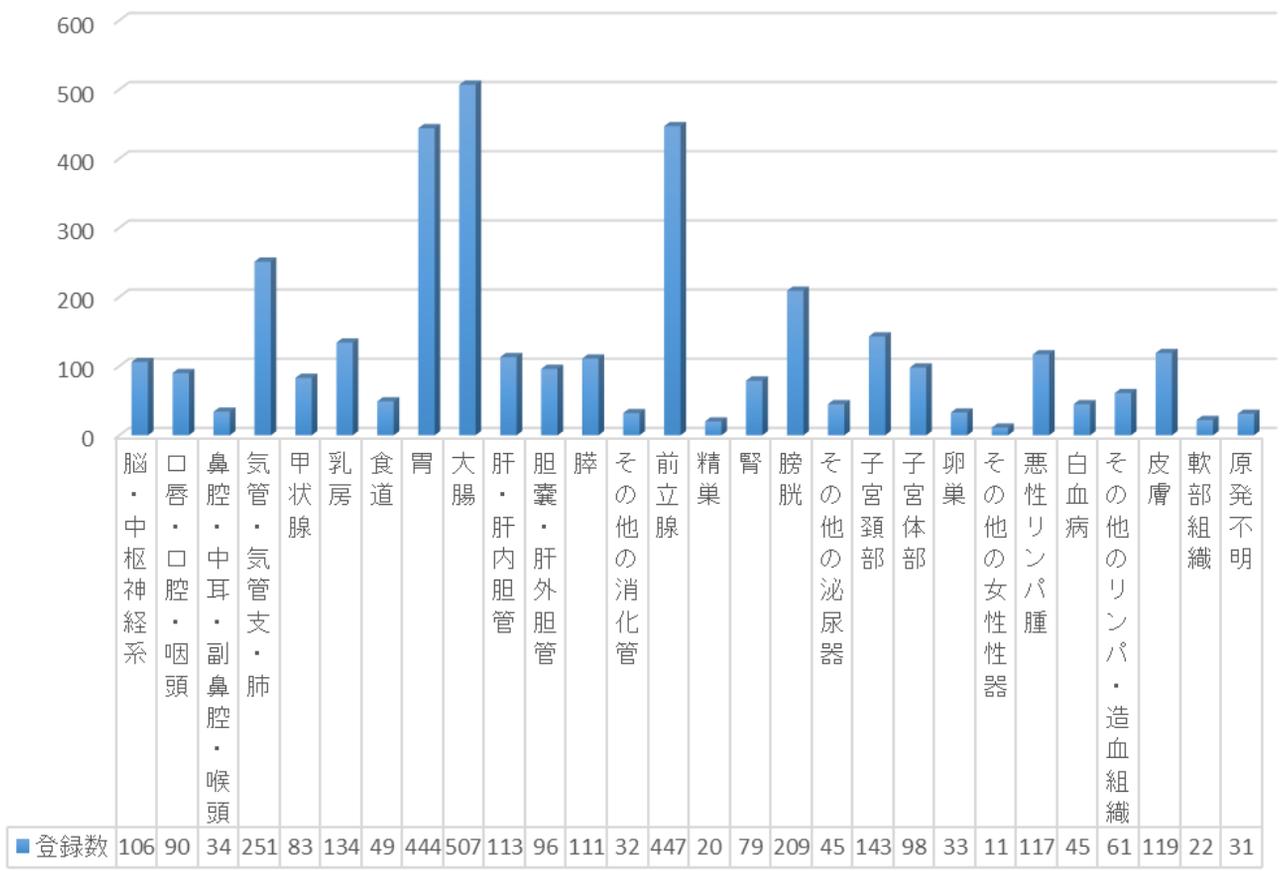
さまざまな「がん患者さん」に対応

当院を受診され、新たにがんと診断された患者さんは、平成24年から平成26年の3年間で3,500件以上。平成26年の1年間だけでも約1,200件近くにのぼっています。

今後もがん診療拠点病院としての責務を果たすため、がん医療の充実、地域の医療水準および治療成績の向上を目指してまいります。



岡崎市民病院 がん登録数 (平成24年から平成26年 計3,534件)





がん相談支援センターのご紹介

がん相談支援センターは
平日9時～16時にご利用いただけます。
お気軽にご相談ください。

岡崎市民病院の「がん相談支援センター」は、
1階の売店前にあります。



ご心配、お困り事をご相談ください！ 山根がん看護専門看護師

専門スタッフによる一人一人にあった支援

がん相談支援センターでは、がん看護専門看護師と医療ソーシャルワーカーが、がんという病気、治療、今後の療養生活や治療費など、患者さんやご家族のご心配、お困りになられていることなど、お話を伺いながら状況を整理し、それぞれの方にあつた向き合い方を考えていくお手伝いをしています。また、セカンドオピニオン、緩和ケアや在宅での介護などのご相談も受けています。

大腸がん啓発イベント（平成27年11月12日）



がんについての理解を深める

がん相談支援センター内には、がんに関する書籍やパンフレットなどがあり、インターネットによる情報検索ができるようになっています。

患者さんやご家族の方が、がんについての理解を深めて、今後の治療を選択して頂けるように支援しています。



不安や悩みを共有 患者サロンと相談会

患者さんやご家族が不安や悩みなどを気軽におしゃべりする場として「がん患者サロン」やNPO法人ミーネットの協力を得て、がんを体験した方が自分の経験を生かしながら、患者さんや家族のお話を伺う「がん患者相談会」を行っています。

【患者サロン等の開催予定】

がん患者サロン：毎月 第1火曜日10:00～13:00
がん患者相談会：奇数月 第1火曜日10:00～12:00

どの会も予約不要で無料です。患者さんやご家族であれば当院の通院の有無は問いません。1階売店前の「がん相談支援センター」にて開催していますので、是非ご利用ください。

～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*～*

【イベントのお知らせ】

前立腺がん啓発イベントを岡崎市民病院1Fで平成28年11月11日(金)に予定していますので、是非ご参加ください。

「届けよう笑顔と思いやり、築こう人がかがやく病院を」



岡崎市民病院
OKAZAKI CITY HOSPITAL.

【お問合せ先】事務局総務課

業務時間：午前8時30分～午後5時

(土日祝日・12/29～1/3はお休み)

TEL (0564) 21-8111 (代表) FAX (0564) 25-2913

